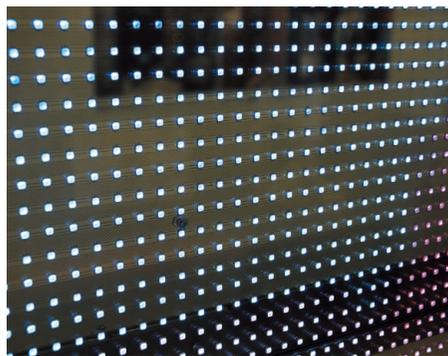


アクシア/ 装飾ツール「FILM-LED」

軽く、薄く、曲がる 価格は他社の3分の2



LEDのピッチ幅は11mmと22mmの2種類を用意

アマミューズメント産業にとつて、顧客に華やかな印象を抱いてもらうのは不可欠な要素。そこに、うつつの製品が誕生した。それが、アクシアの「FILM-LED」(79頁に関連記事)だ。

同製品は、透明導電フィルムに多数のLEDチップを取り付けたもので、店舗のガラス面などに設置して使用。外に向けて映像を流すことができる、いわゆるLEDウィンドービジョン。

近年、徐々に広がりつつあるジャンルだが、その中で、「FILM-LED」が、類似品とは大きく違う点がある。それは、薄さと軽さ。

同製品は、350×890mmのフィルムを組み合わせて1枚の絵や動画を形成する。そのフィルム1枚当たりの重量が、なんと320gなのだ。

1×2mのものを作る際、他社製品では、10kgにも達してしまうことが珍しくないが、「FILM-LED」であれば、2kg足らず。

開発部の趙鶴亀課長は、「このぐらいの軽さでなければ、設置工事は

大掛かりなものになってしまします。設置する際の工事費と施工時間を抑えるために、限りなく軽くしました。『FILM-LED』は、大きなものでも2時間もあれば、設置が完了します」と話す。

厚さは2mm。一般的なものは20mm以上がほとんど。薄くなることによつて、先のとおり、重量が軽くなつたわけだが、それに加えて、設置の自由度が格段に広がった。

というのも、曲げても割れないため、曲面にも使用できるからだ。湾曲したガラス面の建物はスタイリッシュな印象を与えるが、さらにそこにインパクトを加え、見る者を魅了する。

また、ウィンドービジョンの魅力として、外からは映像が見え、中からは外の景色が見えることがあるが、その点においても高品質。

「LED回路の線を見えづらくするのには、苦労しました。透明度は、誇れるポイントです」と趙課長。

ほかにも、ハイクオリティーな点は多い。

同社は、室内のLED照明や屋外のカラーLED照明など、ホールへの導入実績も多数あり、非常に高い評価を受けている企業。LEDチップの性能については、綴るまでもない。

フィルムは耐熱性に優れた変色しにくい素材で、表面をシリコンコーティング。水滴や粉塵による腐食を防止する。

映像配信のシステムに関しては、当然のごとく、スケジュール管理や画面分割表示、調光などの機能が搭載されている。

最後に付け加えたいのが、コスト。これだけ品質が高いのにもかかわらず、価格は他社の3分の2程度だという。

装飾の画一化が進み、他店との差別化が難しくなっている昨今。華やかさとインパクトで顧客のイメージを一新したいならば、「FILM-LED」は、ぜひ、導入したいところだ。



H2×W4mの「FILM-LED」。迫力ある映像を流すことができる